



クライアントの履歴

・[クライアントの履歴](#) (1 ページ)

クライアントの履歴

クライアントの履歴の表示と再生

クライアント再生機能では、敷地内でクライアントを検出し、クライアントの移動を追跡できます。一度に1人のクライアントについてのみ、アクティビティを追跡できます。



(注) クライアントの情報の追跡は30日間に制限されます。

ステップ 1 Cisco DNA Spaces ダッシュボードにログインして、Cisco DNA Spaces : 検出と検索 をクリックします。

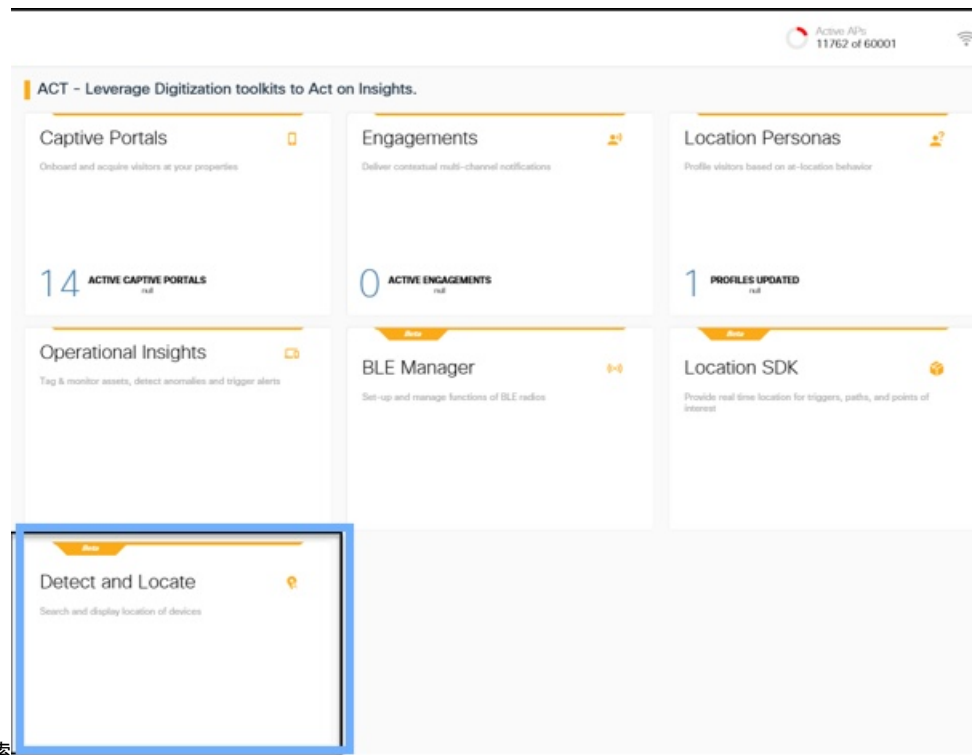
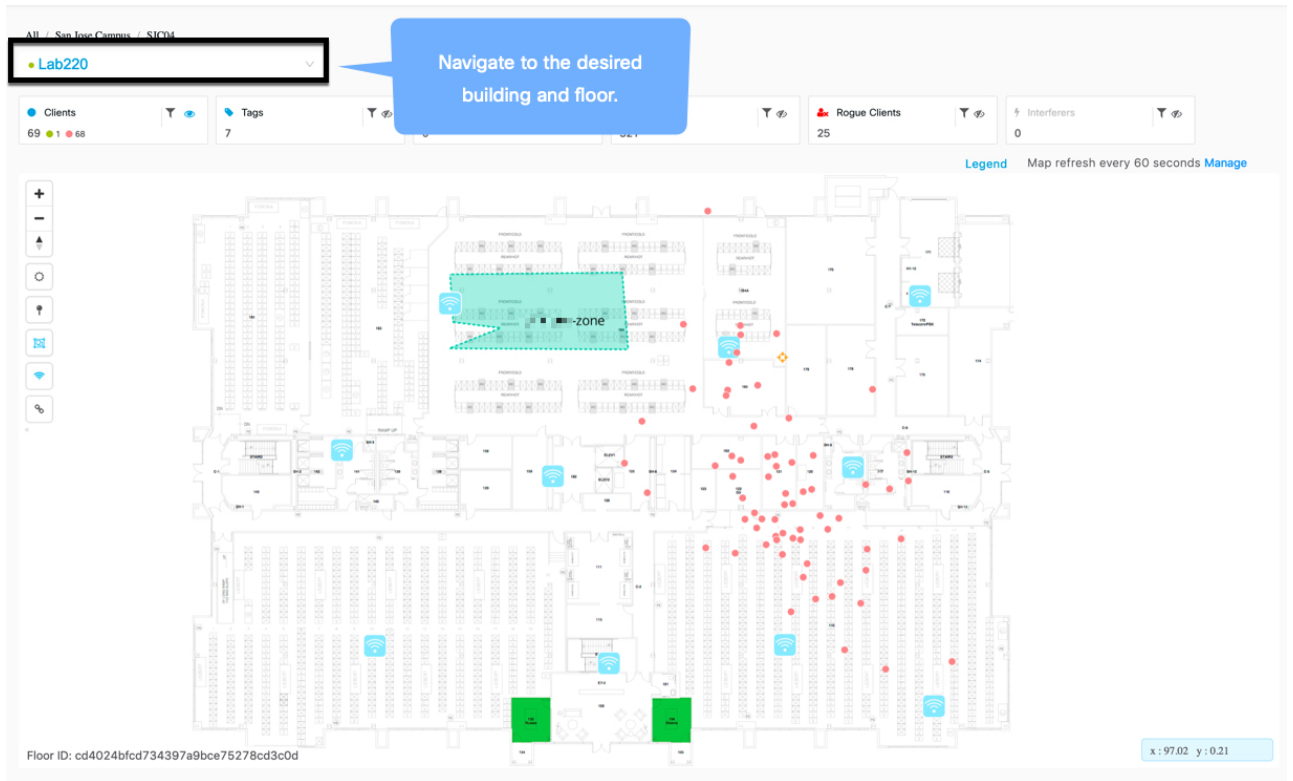


図1: Cisco DNA Spaces : 検出と検索

ステップ 2 Cisco DNA Spaces : 検出と検索 ダッシュボードから、ドロップダウンリストを使用して、目的のキャンパス、ビル、およびフロアに移動します。

図 2: Cisco DNA Spaces : 検出と検索 ダッシュボード



ステップ 3 上部ペインの **[Clients]** の目のアイコンで表示される **[Show/Hide]** ボタンを使用して、すべての追跡対象クライアント（接続済みおよび検出済み）がダッシュボードに表示されることを確認します。

図 3: 目のアイコン




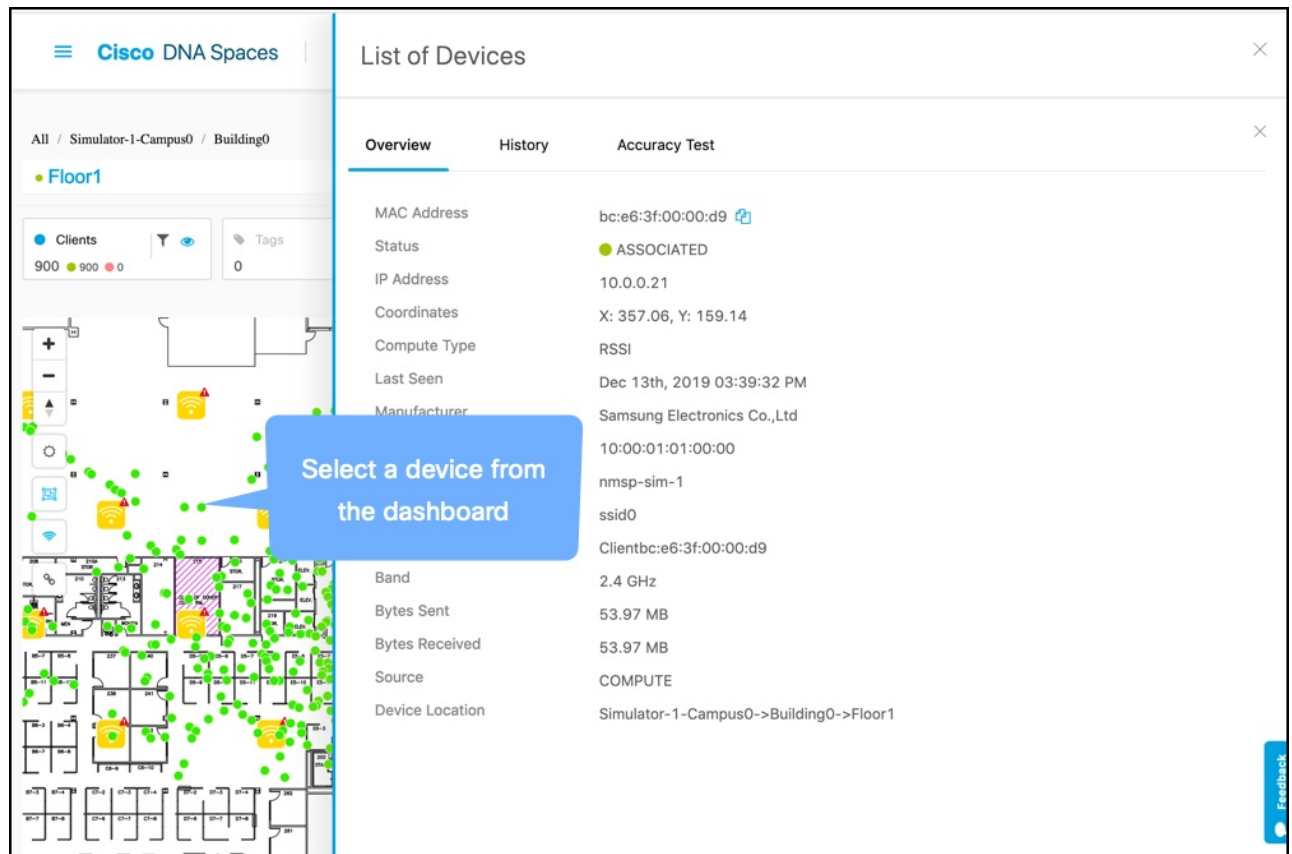
ステップ 4  マップ上の緑色の点のアイコンをクリックしてクライアントを選択し、**[Details]** を表示します。

図 4: Cisco DNA Spaces : 検出と検索 ダッシュボード

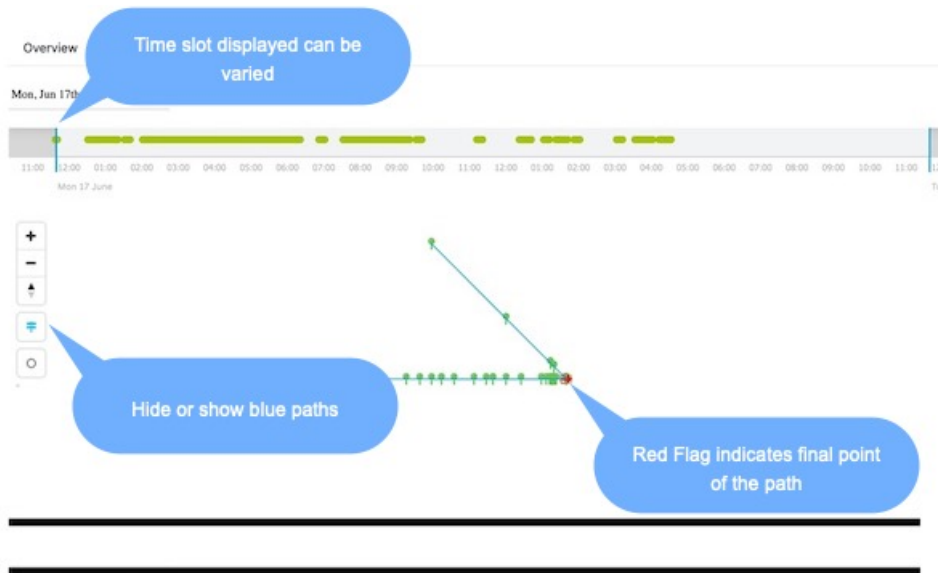


The screenshot displays the Cisco DNA Spaces interface. On the left, a floor plan of 'Floor1' is shown with numerous green dots representing client locations. A blue callout box points to one of these dots with the text 'Select a device from the dashboard'. On the right, a 'List of Devices' panel is open, showing details for a selected device. The panel has tabs for 'Overview', 'History', and 'Accuracy Test', with 'Overview' currently selected. The device details are as follows:

Property	Value
MAC Address	bc:e6:3f:00:00:d9
Status	● ASSOCIATED
IP Address	10.0.0.21
Coordinates	X: 357.06, Y: 159.14
Compute Type	RSSI
Last Seen	Dec 13th, 2019 03:39:32 PM
Manufacturer	Samsung Electronics Co.,Ltd
	10:00:01:01:00:00
	nmsp-sim-1
	ssid0
	Clientbc:e6:3f:00:00:d9
Band	2.4 GHz
Bytes Sent	53.97 MB
Bytes Received	53.97 MB
Source	COMPUTE
Device Location	Simulator-1-Campus0->Building0->Floor1

ステップ 5 [History] をクリックすると、過去 24 時間（デフォルト設定）にプロットされたクライアントの位置が表示されます。

図 5: Cisco DNA Spaces : 検出と検索 クライアントの履歴



ステップ6 クライアント履歴は、次の2つの形式で表示されます。

- 線形タイムフレーム：クライアント履歴は線形タイムフレーム上に点で表示され、青色の線が開始時刻と終了時刻を表します。位置情報は点で表示されます。カーソルを合わせると、特定の時間の位置が表示されます。
- マップ：クライアントの位置は、マップ上に緑色と赤色の点で表示されます。赤色は、デバイスがまだプローブ中で、ネットワークに関連付けられていないことを示します。クライアントが手動でネットワークから切断されたか、またはネットワークの問題が原因で、クライアントがプロービングしている可能性があります。緑色は、デバイスが接続されていることを示します。また、緑色と赤色の点の形式でマップ上に点がプロットされ、青色の線で接続されていることも確認できます。

ステップ7 ヒートマップとして表示されるクライアント履歴を確認します。ヒートマップはデバイスのロケーションチャープのプロットであり、デバイスが移動した位置を示します。これは、疑わしいデバイスの動作を特定するのに役立ち、欠落している機器の追跡にも使用できます。

